

東都医保発第2231号
(地区第1289号)
令和2年11月2日

地区医師会長 殿

公益社団法人
東京都医師会
会長 尾崎 治 夫



新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて (その29)

平素は本会事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして日本医師会より別添のとおり通知がありました。

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、厚生労働省から臨時的な診療報酬の取扱い等について下記のとおり示されました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご承知おきいただき、貴会会員へのご周知方よろしくお願い申し上げます。

記

(1) 診療・検査医療機関での発熱患者等の診療に係る初診料、再診料、外来診療料の加算

診療・検査医療機関の申請に当たり、発熱患者専用の診療・検査時間を設定することとなり、医療機関が表示する診療時間以外で発熱患者の診療等を実施する場合、初診料、再診料、外来診療料に規定する時間外加算等については、それぞれの要件を満たせば算定できる。

なお、診療・検査医療機関において、発熱患者等の診療を休日(日曜、国民の祝日、12/29～31、1/2,3)または深夜(22時～6時)に実施する場合、「救急医療対策事業の整備事業について」に規定されている保険医療機関又は地方自治体等の実施する救急医療対策事業の一環として位置づけられている医療機関とみなされ、休日加算または深夜加算について、それぞれの要件を満たせば算定できる。

(2) 診療・検査医療機関における診療時間の取扱い

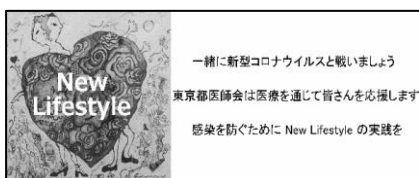
保険医療機関が診療・検査医療機関として、表示する診療時間を超えて発熱患者の診療を実施する等、診療時間の変更を要する場合であっても、診療・検査医療機関に指定される以前より表示していた診療時間を当該保険医療機関における診療時間とみなしてよい。

また、この場合において、再診料に規定する時間外対応加算に係る届出の変更は不要。

(3) 開放型病院における共同指導の取扱い

開放型病院の保険医及び開放型病院に自己の患者を入院させた保険医が、新型コロナウイルス感染症対策等のために療養上必要な指導を共同で行うに当たり、以下のとおり指導を実施した場合に、開放型病院共同指導料(Ⅰ)及び(Ⅱ)それぞれの算定要件を満たすこととする。

- ・開放型病院の保険医…対面で共同指導を実施
- ・開放型病院に自己の患者を入院させた保険医…ビデオ通話が可能な機器を用いて共同指導を実施



(公社)東京都医師会 事業部 医療保険課
TEL : 03-3294-8821 FAX : 03-3292-7097
■新型コロナウイルス感染症の保険適用に関する情報
<https://www.tokyo.med.or.jp/17904>

(保 247)

令和2年10月30日

都道府県医師会
社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事
松本吉郎
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて (その29)

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、臨時的な診療報酬の取扱い等について、添付資料のとおり厚生労働省より取扱いが示されましたので、取り急ぎご連絡申し上げます。

次のインフルエンザの流行に備えた医療提供体制の整備として、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関等を相談・受診し、必要に応じて検査を受けられる体制の整備についてお願いしているところですが、今般、「診療・検査医療機関（仮称）」における時間外加算等の取扱いについて示されたものであります。

つきましては、貴会会員へのご対応等、よろしくお願い申し上げます。

<添付資料>

新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて (その29)
(令 2.10.30 事務連絡 厚生労働省保険局医療課)

事務連絡
令和2年10月30日

地方厚生（支）局医療課
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）

御中

厚生労働省保険局医療課

新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その29）

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、臨時的な診療報酬の取扱い及び施設基準に係る臨時的な対応等について別添のとおり取りまとめたので、その取扱いに遺漏のないよう、貴管下の保険医療機関に対し周知徹底を図られたい。

以上

(別添)

問1 保険医療機関が「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」(令和2年9月4日厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡)に示される「診療・検査医療機関(仮称)(以下、「診療・検査医療機関」という。)」として、当該保険医療機関が表示する診療時間以外の時間において発熱患者等の診療等を実施する場合、A000 初診料又はA001 再診料若しくはA002 外来診療料に係る加算については、どのような取扱いとなるか。

(答) A000 初診料の注7から注9に規定する加算又はA001 再診料注5から注7に規定する加算若しくはA002 外来診療料の注8及び注9に規定する加算については、それぞれの要件を満たせば算定できる。

なお、診療・検査医療機関において、発熱患者等の診療を、休日又は深夜に実施する場合に、当該保険医療機関を「救急医療対策の整備事業について」に規定された保険医療機関又は地方自治体等の実施する救急医療対策事業の一環として位置づけられている保険医療機関とみなし、休日加算又は深夜加算について、それぞれの要件を満たせば算定できることとして差し支えない。

問2 保険医療機関が診療・検査医療機関として、当該保険医療機関が表示する診療時間以外の時間において発熱患者等の診療等を実施する場合、診療報酬上における診療時間についてはどのような取扱いとなるか。

(答) 保険医療機関が診療・検査医療機関として、例えば、当該保険医療機関が表示する診療時間を超えて発熱患者等の診療等を実施する等、当該保険医療機関における診療時間の変更を要する場合であっても、当該保険医療機関において、診療・検査医療機関として指定される以前より表示していた診療時間を、当該保険医療機関における診療時間とみなすこととして差し支えない。

問3 診療・検査医療機関において、発熱患者等の診療等を実施するために診療時間の変更が生じた場合、A001 再診料の注10に規定する時間外対応加算に係る届出の変更を行う必要があるか。

(答) 不要。

問4 B002 開放型病院共同指導料（Ⅰ）及びB003 開放型病院共同指導料（Ⅱ）について、新型コロナウイルス感染症対策等のため、開放型病院に自己の患者を入院させた保険医がリアルタイムでの画像を介したコミュニケーション（以下「ビデオ通話」という。）が可能な機器を用いて共同指導を行った場合について、どのような取扱いとなるか。

（答）新型コロナウイルス感染症に係る臨時的な取扱いとして、開放型病院の保険医及び開放型病院に自己の患者を入院させた保険医が療養上必要な指導を共同で行うに当たり、開放型病院の保険医が患者と対面で共同指導を実施し、かつ、開放型病院に自己の患者を入院させた保険医が、ビデオ通話が可能な機器を用いて共同指導を行う場合には、それぞれの算定要件を満たすこととする。